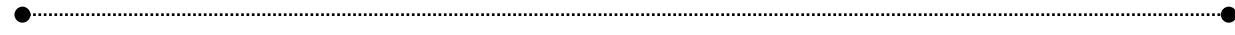


### 平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	キッチンおひさま		
事業主体 (連絡先)	正治 悦子 0260-26-2040		
事業区分	(2) 保険、医療、福祉の充実に関する事業 (4) 安心・安全な地域づくりに関する事業		
事業タイプ	ソフト・ハード		
総事業費	1,597,878 円 (うち支援金 :		1,082,000 円)



#### 事業内容

1. 作る  
改修後の調理場で、月曜日はお弁当を約 30 食作り、火・木・金曜日は 6~7 種類の惣菜を作っている。
2. 配る  
豆腐・惣菜等を高齢者宅等に配達し、体調等の話題で様子を伺い、問題があれば役場に連絡している。
3. 豆腐作り体験  
3回実施、参加者計 22 名
4. 料理教室  
4回実施、参加者計 56 名
5. レシピ集  
春・夏、秋・冬の 2 種類 (各 700 部) を村民に配布



【男の料理教室】

【目標・ねらい】

- ① 高齢者等の食生活の見守り
- ② 高齢者等の健康・安全の見守り
- ③ 料理教室等を通じて地域のつながりを深める
- ④ 食育の手伝い

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① ② 豆腐、惣菜の配達先は、前年より 9 件増えて 80 軒になった。(見守り先が 13%増)
- ③料理教室参加者から、台所に立ったことが無かった主人が家族に料理をして喜ばれたと言われた。次回の実施を依頼され、また、おからを使ったレシピを要望されて配布した。
- ④豆腐作り体験教室で、小学生や若妻達の食育に協力出来た。

#### ※自己評価 【B】

##### 【理由】

- ① 豆腐作り教室の小学 2 年生には豆腐を学んでもらい、自ら作る喜びも感じてもらった。
- ② 料理教室により地域の方々から信頼を得られ、喜ばれ、今後の活動に勢いがついた。
- ③ 活動のスタートが遅かった。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 1.豆腐・惣菜等の高齢者宅等への配達を継続し、今後も安全な食事を届け、高齢者等の見守りを続ける。
2. 豆腐やおからを使ったレシピを増やし、料理教室等で健康な食事を広める。
3. 豆腐作り体験教室、料理教室を継続して、食育の活動を進める。
- 4.地産地消を進めて、村内からの食材の調達を増やす。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある